

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 417

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		水防情報システム維持管理	2	回	7,235
		緊急水防作業委託	12	回	7,588
		水防訓練	1	回	1,353
		その他（維持管理経費ほか）			10,499
	(2) 事業実績	<p>平成23年度は水防活動を8回(うち警報発令によるもの5回)を実施しました。活動内訳は、水防一次態勢3回(うち1回は緊急部隊から態勢拡大)、緊急部隊対応2回、警戒配備態勢1回、情報連絡態勢2回でした。</p> <p>5月14日には、区職員のほか杉並・荻窪消防署、関係団体、地域住民など200名以上が参加する、杉並区合同水防訓練を実施しました。</p> <p>また、より迅速的確に水防活動を行うため、水防態勢の見直しを行いました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業内容
	近年は局所的な集中豪雨等による被害が多く、河川沿いの地域外でも水害が起こるようになりました。被害件数 平成16年度:54件、平成17年度:1898件、平成18年度:6件、平成19年度:16件、平成20年度:0件、平成21年度:22件、平成22年度:3件、平成23年度:30件	
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	水害時に、土のう手配、ポンプの設置等の対応を迅速に行ってほしいとの要望があります。
	今後の予測	善福寺川・神田川の河川改修の進捗により、河川の氾濫による水害の危険性は減少していくものと予想されます。しかし、局地的な集中豪雨が増加傾向にあり、一方で住宅の地下利用などが進んでいるので、低地やくぼ地などで住宅への浸水被害が増加することが懸念されます。
	評価と課題	区では、台風などの集中豪雨や都市部特有のゲリラ豪雨にも迅速な対応ができるよう、水防体制の充実、雨量・水位情報を区民に的確に伝える仕組みづくり、水防資機材を備えた水防基地の整備を行い、安全で安心な区民生活の確保に努めています。また、善福寺川下流域では河川整備が完了しつつあり、浸水被害は減少傾向にあります。しかし、未改修区間では依然警戒を要し、低地・くぼ地では、都市型水害への対策が課題となっています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	II 事業の改善
			<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
	水防活動を迅速的確に実施するため、水防配備態勢における人員配置や事前配備地域の見直しなどを行いました。今後も、水害の発生状況を考慮し、柔軟に態勢の見直しを行っていきます。		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		雨水流出抑制対策等工事助成		款	5	項	3	目	3	事業	4	整理番号	418	
担当部課名		都市整備部土木計画課		係名	計画調整係			連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	426		
(平成23年度担当部課名)				都市整備部建設課				予算事業区分		投資事業				
事業開始		平成	▼	6年度										<input type="checkbox"/> 主要事業
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠 (1) 杉並区雨水浸透施設設置助成金交付要綱 法令等 (2) 杉並区水害予防住宅高床化工事助成金交付要綱									
	自己の住宅等又はその敷地に雨水浸透施設や水害予防施設の設置を行う者													
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)											
	○個人住宅など小規模民間施設の雨水流出抑制施設の整備及び水害を防止・軽減する家づくりの助成を行い、流域対策・減災対策を推進することにより、自治体が行う河川整備や下水道整備と一体となった総合的な治水対策を実現し、区民の安全を確保します。		(1) 雨水浸透施設設置助成件数 (2) 雨水浸透施設設置助成額											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
○住宅等に雨水浸透施設を設置する個人に、40万円を限度に工事費の一部を助成する。 ○水害想定地域において、住宅等の高床化工事を行う者に、200万円を限度に工事費の2分の1を助成する。 ○住宅等の地下出入口などに防水板を設置する個人に、50万円を限度に工事費の2分の1を助成する。		成果指標名(1)		助成により設置された雨水浸透施設の浸透量										
		算定式・指標の説明等		単年度										
		成果指標名(2)		助成により設置された雨水浸透施設の浸透量										
		算定式・指標の説明等		平成6年度からの累計										
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	① 件	116	130	131	100	101	150	101.0					
	活動指標(2)	② 千円	33,184	40,000	30,294	25,000	23,948	42,500	95.8					
	成果指標(1)	③ m ³ /h	980.9	550.0	787.8	550.0	602.3	550.0	109.5					
	成果指標(2)	④ m ³ /h	6,431.7	6,981.7	7,219.5	7,769.5	7,821.8	8,371.8	100.7					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	36,190	46,024	34,711	36,497	36,046	48,496	23年度予算執行率% 98.8					
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	35,010	45,000	33,950	35,784	35,784	47,500	特記事項					
	(内)委託費	⑦ 千円	17	22	22	44	44	44						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	1.34 0.00	1.30 0.00	1.33 0.00	1.30 0.00	1.34 0.00	1.30 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	11,898	11,596	11,864	11,570	11,926			11,570			
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	0	0			0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	48,088	57,620	46,575	48,067	47,972	60,066						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	112,741	97,077	96,374	122,830	120,673	83,773						
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0			0			
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0			0			
都からの補助金等		⑮ 千円	7,846	5,000	6,469	4,262	6,013	7,012						
その他の補助金等		⑯ 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	7,846	5,000	6,469	4,262	6,013	7,012						
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱ 千円	40,242	52,620	40,106	43,805	41,959	53,054						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 418

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				雨水浸透施設設置工事の助成	101
		水害対策家屋工事助成	10	件	11,836
		申請用紙(雨水流出抑制対策実施計画書)の印刷	1	件	90
		組織改正に伴う書類訂正シールの印刷	1	件	128
		その他(郵送費等)			44
	(2) 事業実績	平成23年度の区の雨水流出抑制量は7,482m ³ で、このうち602m ³ が助成によるものです。また、区の雨水流出抑制目標対策量588,000m ³ (神田川・目黒川水系)に対し、平成23年度までの累計達成数量は、243,871m ³ (達成率41%)でした。 水害対策家屋工事助成の10件は、高床化工事助成によるものです。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	都内では局所的豪雨が頻発し、杉並区も平成17年9月の集中豪雨では甚大な被害を被りました。これを契機に都は平成19年に豪雨対策基本方針を策定、行政による河川・下水道整備と共に、民間の自助・共助として雨水流出抑制や減災対策も重要な位置づけとなっています。区では、公共施設や民間施設への雨水流出抑制対策の指導と併せて、平成6年度から個人住宅等への雨水浸透施設設置助成を実施、都も平成19年度に区市への補助を開始しました。また、区は、平成20年度に住宅等の高床化や防水板設置など水害対策工事助成を開始しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	雨水浸透施設は、一般の宅地内排水設備と比べ工事費が割高になるので、助成単価や限度額の増額を求める声があります。 狭小宅地では、助成金の規格に該当する浸透施設がスペース的に設置できないことがあります。 高床化工事では、建築基準法の高さ制限や斜線制限をいかに解決するかが課題となります。
	今後の予測	近年の河川や下水道の整備水準を上回る豪雨に対して、また、地形的に低地やくぼ地にあっては、既存の治水施設では十分に対応できず水害が発生しています。このため、河川、下水道等の治水施設整備と共に、大量の雨水を一時に流出させないための流域対策(雨水浸透や雨水貯留)が今後も重要となります。また、雨水浸水被害を受けやすい地域の減災に向けたまちづくりや住民、地下室管理者等に対する防災意識啓発など、ハード、ソフト両面からの総合的な浸水対策が必要とされます。
	評価と課題	資金力の乏しい個人住宅等を助成することは、公民協働で治水対策を進める上で有効な方策となります。本事業では、平成22年度に小型工種を助成対象に加え、狭小宅地の需要に答えました。しかし、雨水浸透施設の整備は、工事費用面で建築主の負担が多く、助成をしてもコストのギャップが埋めきれないのが実情です。助成制度をより多く活用して治水対策を推進するため、助成単価の見直しなど検討していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	● 実施方法の変更		
	<p>浸透施設は新築時に設置するケースが大半で、経済状況や建築主の資金力がその普及に影響を及ぼしています。雨水浸透が、助成金の交付対象となっていない法人事業者も含めて区内全域に普及するよう、簡易浸透ますの利用や配管面でのコストが少なくすむ方法についても指導・助言を行っていきます。</p> <p>雨水浸透は、水害対策のみならず、地下水や湧水を回復させるとともに、豊かな緑をはぐくみ、ヒートアイランド化の抑制にも効果を発揮しています。</p> <p>こうした環境面での貢献もアピールして、利用者の理解を得ながら、浸透施設の普及を図っていくよう努めます。</p>					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	排水場維持管理	款	5	項	3	目	3	事業	5	整理番号	419	
担当部課名	都市整備部杉並土木事務所	係名	工務係			連絡先電話番号	4632			昨年度整理番号	427	
(平成23年度担当部課名)		都市整備部杉並土木事務所						予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	41	年度							<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 地方自治法 第281条 法令等 (2)					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○JR線高架下の区道及び地下道を安全に通行できるようにする。 阿佐谷排水場(阿佐谷南3-49 2台) 上荻排水場(上荻1-2 1台)					活動指標名(式)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○JR線高架下の区道及び地下道の雨水・地下水等を排水する。					成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 点検実施率 算定式・指標の説明等 点検実施数÷点検計画数×100 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					
区分	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
		実績		計画	実績		計画(目標値)	実績				計画
指標	活動指標(1)	①	回	12	12	12	12	12	12	12	100.0	
	活動指標(2)	②										
	成果指標(1)	③	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	823	675	639	1,236	1,209	675	23年度予算執行率% 97.8		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	357	357	357	357	357	357			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00			0.01 0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	89	89	89	89	89			89
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	912	764	728	1,325	1,298	764			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	76,000	63,667	60,667	110,417	108,167	63,667			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	912	764	728	1,325	1,298	764			
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 419

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		排水場及び駅前広場噴水のポンプ等保守点検委託	2	箇所	357
		その他 (排水場光熱水費 ほか)			852
	(2) 事業実績	専門技術者による点検調査を2ヶ月ごとに行い、安全に作動することを確認すると共に、危うい箇所の早期発見に努めています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	本排水場は、昭和40年代前半、国鉄中央線の高架復々線化事業により掘割化した区道の路面排水及び軌道敷の排水対策として設置、また踏切撤去に伴う地下道新設によりJR用地内に土地を無償貸借し設置された施設である。下水道施設に自然流下することが不可能なため施設の存続する限り、これを維持していきます。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	排水場は、平成10年にポンプの改修を行いました。その他の周辺機械機器類及び、施設は設置時のままです。このため、当排水場施設は、経年劣化をしており、故障の発生も考えられますが、定期的な点検調整で常に良好な状態を保つ必要のあるところではあります。
	今後の予測	近年、地球温暖化の影響で、局地的な豪雨が頻発しています。排水場は、雨水排水施設として、不特定多数の人が安心して通行できるための重要な施設です。ひとたび、豪雨が発生したときに、施設の老朽化により機器類が故障すれば多大な影響を及ぼしてしまいます。今後、早期に施設の改修等を考えていく必要があります。
	評価と課題	記録的な豪雨のにより、アンダーパス部分での車の水没等が発生しています。地下通路等の排水は、防災上の観点からも重要となっています。施設の経年劣化が進んでいますので、今後の施設全体の改修を視野に入れながら、定期点検をおこなってまいります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	● 実施方法の変更		
	これからも、点検や調査を同規模に行い、機器の状態を確認しながら、改修時期を見極めていきます。また、改修実現に向けて関係部署との調整連携を図っていきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公共溝渠維持補修		款	5	項	3	目	3	事業	6	整理番号	420	
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	工務係			連絡先電話番号	4632		昨年度整理番号	428		
(平成23年度担当部課名)		都市整備部杉並土木事務所						予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	32	年度								<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	公共溝渠(主に蓋掛けの水路)の利用者及び近隣の住民。						根拠法令等	(1) 地方自治法 第281条2項 (2)
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○公共溝渠の排水機能を保全し、悪臭や蚊の発生の防止に努め適正な維持管理を図る。						活動指標名(式)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○公共溝渠のしゅんせつや土揚敷の除草を行う。						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		維持補修対応率								
				算定式・指標の説明等		調査または対応の実施数÷区民からの通報及び要望×100								
				成果指標名(2)										
				算定式・指標の説明等										
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績			
指標	活動指標(1)	①	m	19,967	19,967	19,967	19,967	19,967	19,967	19,967	100.0			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	914	2,080	2,080	1,413	1,223	1,413	23年度予算執行率% 86.6				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 公共溝渠のしゅんせつ規模が、当初、予定していたよりも少なかったため、予算執行残ができています。				
	(内)委託費	⑦	千円	914	2,080	2,080	1,413	1,223	1,413					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	89	89	89	89	89			89		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	1,003	2,169	2,169	1,502	1,312	1,502					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	50	109	109	75	66	75					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0		
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0		
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0			0		
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	1,003	2,169	2,169	1,502	1,312	1,502					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 420

23年度の事業実施状況	内容	規模	事業費(千円)	
			単位	
(1)主な取組み	公共溝渠清掃作業委託	5	m ³	619
	産業廃棄物処理	25	t	604
	その他 ()			0
(2)事業実績	区内に点在する公共溝渠の維持管理業務を道路等日常保全業務委託ではほぼ対応しています。このため区民要望に対しては、迅速に対応が可能となっています。道路等日常保全業務委託で対応できない浸漬などを発注しています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公共溝渠は、昭和30～40年代下水道の普及時に残された柵渠、U形溝であり、蓋掛けにより、通路として利用されているものもありますが、未だに開渠のものもあります。現在、柵渠、U形溝共かなりの老朽化が目立っています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公共溝渠は区民にとって、日常生活を支える重要な歩行空間ですが、蚊の発生、悪臭などの環境面のもの、及び柵渠、蓋等の老朽化による破損など様々な要望や意見が寄せられています。
	今後の予測	公共溝渠構造体(柵渠、蓋)の老朽化が進んできています。今までの維持管理では、対応しきれない事態が発生する可能性が生じてきています。
評価と課題	公共溝渠は、住宅地域の排水機能を持つとともに住民の日常的な歩行空間となっています。その排水機能を保全しつつ、歩行系の道路への転換あるいは、水防対策の一環としての雨水の一時貯留場所として整備を図るなど、公共溝渠の利用計画をまとめていきます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更			
公共溝渠の利用整備計画が定まるまでは、引き続き現状の維持管理を行っていきます。将来は、排水機能を確保しつつ、歩行系の道路(散歩道等)へ転換をしていくことが望ましいものと考えます。						

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 421

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		街路灯維持管理委託			
		街路灯補修委託			93,339
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	区民からの故障修理等の要望を迅速に対応するため、全共架街路灯の調査を行い街路灯台帳システムに新たにデータを取り入れ管理体制の強化を図りました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ランプ交換等の実施回数や、定期的な故障等についての発見率に大きな変化は、みられません。(街路灯管理数値:平成5年24,159灯、平成23年25,311灯)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	生活道路では、防犯灯としての照明の役割を求める声が寄せられています。
	今後の予測	区全域での街路灯の設置状況は、おおむね整備がなされ、急激な増加等の変動はないと予測されます。
	評価と課題	街路灯台帳システムデータを充実させ、故障修理対応の迅速化を図りました。今後は、環境負荷の軽減や経費削減を図るため、街路灯の新設・改修事業と連携し、新光源や資材の導入を進めていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	● 実施方法の変更		
		区民からの故障・修理要望等を迅速に対応するため、新たに「管理番号シール」をわかりやすい位置に設置していきます。また、二酸化炭素の発生抑制や電気料金の削減を図るため、水銀灯灯に替わる新光源の導入を進めます。				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	街路灯の新設・改修	款	5	項	3	目	4	事業	2	整理番号	422	
担当部課名	都市整備部杉並土木事務所	係名	交通安全施設		連絡先	電話番号		4636		昨年度整理番号	430	
(平成23年度担当部課名)		都市整備部杉並土木事務所						予算事業区分		投資事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	35	年度							<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 すべての区道利用者				根拠	(1) 地方自治法第281条の2第2項					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○街路灯を新設・改修し、安全性を向上する。				法令等	(2) 杉並区街路灯設置基準					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○街路灯を新設する。 ○老朽化した街路灯を改修をする。				活動指標名(式)	(1) 街路灯新設数 (2) 街路灯改修数					
		成果指標				※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
		成果指標名(1)				街路灯整備率						
		算定式・指標の説明等				街路灯新設数÷街路灯新設計画数						
		成果指標名(2)				街路灯改修率						
		算定式・指標の説明等				街路灯改修数÷街路灯改修計画数						
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績					
指標	活動指標(1)	①	灯	33	34	28	24	27	30	112.5		
	活動指標(2)	②	灯	1,940	1,592	1,103	1,444	1,045	1,000	72.4		
	成果指標(1)	③	%	100.0	100.0	82.4	100.0	112.5	100.0	112.5		
	成果指標(2)	④	%	119.8	100.0	69.3	100.0	72.4	100.0	72.4		
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	327,240	209,716	201,753	209,716	202,000	174,331	23年度予算執行率% 96.3		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	323,265	205,457	199,990	209,686	200,333	170,166	特記事項		
	(内) 委託費	⑦	千円	323,265	205,457	199,990	205,705	200,333	170,166			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.97 0.00	1.48 0.00	1.70 0.00	1.48 0.00	1.61 0.00	1.36 0.00			
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	17,492	13,202	15,182	13,208	14,356		12,095	
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	344,732	222,918	216,935	222,924	216,356	186,426			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	650,515	513,559	605,179	551,583	593,444	542,000			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0	
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	344,732	222,918	216,935	222,924	216,356	186,426			
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 422

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		街路灯器具光源改良	706	灯	161,969
		ポールアーム改修	239	灯	30,185
		街路灯の新設	27	灯	8,206
		その他（負担金）			1,640
	(2) 事業実績	共架街路灯の性能のを向上とコスト軽減を図るため、可変アームの導入を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	概ね区内全路線に街路灯の設置が完了いたしましたが、当面は継続的に道路改修等が続くため、一定数量の新設が必要となります。事業開始当時に比べ、新設よりも改修の比重が大きくなりました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が寄せられています。
	今後の予測	幅員が狭い区有通路等についても、防犯上の観点から街路灯の設置をする必要があるため、今後も現状の計画数量を維持し、設置していきます。
	評価と課題	区内における街路灯の整備は、おおそ全路線に実施済みです。今後は、維持・補修事業と連携し、二酸化炭素の抑制や電気量の削減を図るため、新光源や新資材の導入を進めていきます。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	● 実施方法の変更		
		電気使用量の削減や二酸化炭素の発生抑制を積極的に図るため、大型街路灯にセラミックメタルハライドランプにの導入を進めていきます。				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	民有灯の助成(維持補修)			款	5	項	3	目	4	事業	3	整理番号	423		
担当部課名	都市整備部杉並土木事務所			係名	交通安全施設係			連絡先電話番号	4636			昨年度整理番号	431		
(平成23年度担当部課名)				都市整備部杉並土木事務所						予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	46	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 地方自治法第281条の2第2項 (2) 杉並区街路灯設置基準						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。						活動指標名(式)		(1) 私道街路灯修理件数 (2) 電気料助成灯数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○既設私道街路灯のポール塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。						成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)		私道街路灯修理率		算定式・指標の説明等		私道街路灯修理件数/私道街路灯管理灯数							
		成果指標名(2)		電気料助成率		算定式・指標の説明等		電気料助成灯数/電気料助成申請灯数							
区分		単位	21年度		22年度		23年度			24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画		
指標	活動指標(1)	①	件	751	669	1,530	669	845	500	126.3					
	活動指標(2)	②	灯	8,624	8,641	8,607	8,637	8,607	8,627	99.7					
	成果指標(1)	③	%	9.0	8.0	5.6	12.9	9.8	5.8	75.9					
	成果指標(2)	④	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	63,532	53,314	51,785	64,573	57,416	59,338	23年度予算執行率% 88.9					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 電気料金の助成執行残によります。					
	(内)委託費	⑦	千円	10,587	7,030	6,931	8,625	8,611	8,625						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.41 0.00	0.45 0.00	0.44 0.00	0.46 0.00	0.50 0.00	0.46 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	3,640	4,014	3,952	4,067	4,423					4,121	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	67,172	57,328	55,737	68,640	61,839	63,459						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	89,443	85,692	36,429	102,601	73,182	126,918						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0	
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	67,172	57,328	55,737	68,640	61,839	63,459						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 423

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				民有灯補修	
		私道街路灯故障修理委託			4,497
		私道街路灯維持補修工事			4,084
		電気料助成			25,322
		その他（通信運搬費）			30
	(2) 事業実績	区民からの情報提供による故障修理等、緊急対応を迅速に行うとともにランプの一斉取替え等私道街路灯の適正な維持管理を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	私道街路灯は、概ね一定数量(約8,400灯)を整備し、灯数の増加による故障等も増えてきました。昨年度は、球交換(耐用年数)時期の集中する年でしたので、交換等の修理件数が増えましたが、今年は平年どおりとなりました。 ■管理数値（平成5年度8,313灯、平成23年度8,366灯）
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	街路灯は、区民生活の安全安心のため、必要不可欠のものであり、故障等には迅速な対応が求められています。
	今後の予測	現状どおりの推移が見込まれますが、宅地開発等で新設の増加が見込まれるため若干の増加が予測されます。
	評価と課題	今後も、現行での助成制度を維持し、私道上の安全な夜間通路を確保して行きます。、維持管理については、町会・自治会を通して適正に行うとともに故障修理等の要望には迅速に対応しています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
		区民からの故障・修理要望を迅速に対応するため、街路灯管理番号をプレートからシールにし、よりわかりやすい位置に設置していきます。また、私道街路灯の適正な維持管理方法について、町会・自治会にPRを行っていきます。				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 424

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		街路灯新設委託	13	灯	3,315
		私道街路灯器具改修委託	423	灯	16,997
		私道街路灯ポール改修委託	59	灯	15,996
		その他（維持管理用品）			786
	(2) 事業実績	新設要望に迅速に対応し、街路灯管理システムを活用しながら器具改修事業を行い安全で適正な維持に努めました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	数量は、事業開始時と比べると少なくなっていますが、民間による開発行為が続いているため、一定数量の増加が続いています。事業開始時の設置灯数が多かったため、改修を要する街路灯の数は増加傾向にあります。
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が寄せられています。
	今後の予測	新設数については、現在の傾向で推移すると見込まれます。今後は、改修時期を迎える街路灯への対応が増加すると予測されます。
	評価と課題	私道街路灯の新設要望には迅速に対応し、灯具の改修も計画の約1.3倍を実施しました。今後も現行の助成制度を維持し、私道街路灯の整備を進めるとともに、灯具改修にあたって、環境配慮型や高効率の灯具の調査・研究を行っていきます。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	● 実施方法の変更		
	私道街路灯の助成事業は、安心・安全のまちづくりの観点から今後とも継続していく必要があります。二酸化炭素の抑制や電気使用量の削減を図るため、新光源の調査・研究を行っていきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 425

23年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		交通安全啓発活動			
		各種団体への支援			5,123
		自転車安全利用証	2,427	件	2,189
		自転車利用モデル地区	6	件	580
		その他（自転車スタント講習、安全利用啓発用品の購入など）			3,606
	(2)事業実績	第9次杉並区交通安全計画(平成23～27年度)を策定し、自転車の安全対策を重点施策と位置づけました。これに基づき、従来の小・中学生や高齢者向けの講習会だけでなく、業務で日常的に自転車を利用する区内事業所、幼児の保護者を対象とした自転車安全利用講習会を開始しました。また、新たに区内高校、スポーツ施設や保健センター利用者向けにパンフレットを配布し、自転車走行のルール・マナーについて啓発を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	最近5年間の区内の交通事故発生件数は、平成22年を除き減少を続けており、平成23年には2,023件と5年前と比べて約26%減りました。一方で、自転車と高齢者が関与する交通事故については、各々件数が減っているものの減り方は鈍く、事故全体に占める割合は高くなっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	自転車の危険走行に対する取り締まりや罰則の強化を求める声が多く寄せられています。
	今後の予測	自転車に関与する交通事故件数は減少傾向にありますが、区や警察が行っている安全啓発活動と併せて、警視庁が平成22年12月に策定した自転車総合対策推進計画に基づき、危険走行に対する取り締まりが強化されており、特に死亡・重傷事故の減少が進むことが予想されます。
評価と課題		自転車安全利用の各種安全対策が進み、自転車事故件数は減少しています。自転車には免許制度が無いため、自動車運転免許を取得したことのない自転車利用者は、交通ルールを体系的に学ぶ機会が無く、ルール徹底とマナー向上の啓発が課題です。また、歩行者も「自転車がどのようなルールに基づき走行するのか」を知ることは、歩行時の安全確保に繋がることから、自転車利用者に限らずより多くの方に啓発を行うことも重要です。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
		<p>○講習会形式での啓発では、参加者が限られるという制約もあるため、より多くの方が参加しやすいよう、開催曜日や時間帯を工夫します。また、まつり等のイベント開催時に交通安全を呼びかけたり、インターネットを活用するなど方法の多様化を図ります。</p> <p>○区内警察署が指定する自転車対策重点路線を中心に、警察と協力して街頭キャンペーンなどを行い、安全利用の輪を広げていきます。</p> <p>○ブレーキを装備しない自転車の公道走行が社会問題となっており、自転車整備の必要性を訴えながら、点検整備を習慣化できるよう啓発を強化します。</p> <p>○交通事故被害者の救済に資するため、自転車利用者に対し、加害者となるリスクの説明と併せて保険加入を推奨します。</p>				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	交通安全施設の維持補修			款	5	項	3	目	5	事業	2	整理番号	426	
担当部課名	都市整備部杉並土木事務所			係名	交通安全施設係			連絡先電話番号	4635			昨年度整理番号	434	
(平成23年度担当部課名)				都市整備部杉並土木事務所					予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	36	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ○区が管理する道路の利用者			根拠法令等	(1) 地方自治法第281条の2第2項 (2) 道路法第42条								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区が管理する道路における交通安全施設の機能を適正に保持する事により、道路利用者の安全を確保する。			活動指標名(式)	(1) 交通安全施設の補修件数 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○破損した交通安全施設の補修工事及び、配電型交差点鉾の清掃を行う。 ○配電型交差点鉾の電気料金を支払う。			成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
	成果指標名(1)	交通安全施設の相談件数に対する補修率			算定式・指標の説明等	補修件数/相談件数×100								
	成果指標名(2)				算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績							
指標	活動指標(1)	①	件	669	500	559	500	557		500	111.4			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	41,149	41,567	41,349	42,378	42,142		42,732	23年度予算執行率%	99.4		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0		0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	38,588	38,771	38,674	39,825	39,769		39,893				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.34 0.00	1.33 0.00	1.37 0.00	1.30 0.00	1.35 0.00		1.40 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	11,898	11,864	12,220	11,570	12,015		12,460			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	53,047	53,431	53,569	53,948	54,157		55,192				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	79,293	106,862	95,830	107,896	97,230		110,384				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0			
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0		0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0		0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0		0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	53,047	53,431	53,569	53,948	54,157		55,192				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0					

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 426

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		道路反射鏡等補修(道路反射鏡、防護柵、標識の修理等)	557	件	38,599
	交通安全施設清掃委託(発光式道路鏡)	290	基	1,170	
	自発光式交差点鏡ランプ交換	78	基	708	
	自発光式交差点鏡電気料金	139	基	350	
	その他(交通安全施設維持管理(原材料費ほか))				1,315
	(2) 事業実績	既存施設の老朽化や当て逃げ等の補修において、台帳上からの経年更新及び区民からの情報提供における緊急対応を行ないました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主な交通安全施設の管理数値(各年4月1日) ○防護柵 昭和57年 40,489m 平成15年 36,680m 平成23年 36,572m ○道路反射鏡 3,386本 4,790本 4,866本 ○道路標識 1,632本 1,467本 1,421本			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○ 交通安全への意識の高まりから、道路反射鏡の向き直し、防護柵の補修要望が増えています。 ○ 建築工事などに伴う、交通安全施設の承認(自費)工事による移設要望が多くなっています。			
	今後の予測	交通安全施設の整備は着実に進められており、今後も交通安全施設は増加していきます。また、区民等の交通安全への意識の高まりから、維持補修件数は増加するものと予測しています。			
	評価と課題	交通安全施設の点検や清掃の実施、迅速な修理を通じて、区民の安全を図ってきました。今後は、交通安全施設の整備事業と連携し、耐久性が高く視認性の高い機器を導入し、経費の節減と安全性の確保に取り組んでいきます。また、自己都合による移設や撤去、また、交通事故の原因者には、道路法の趣旨を説明し、承認(自費)工事として対応していきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	● 実施方法の変更		
	接触事故等による道路反射鏡鏡面の交換頻度を削減するために、耐久性の高いステンレス製鏡面への交換を進めています。また、道路警戒標識板を広角プリズム板に随時交換し、夜間等の視認性を向上させる等、恒久性や視認性が高い交通安全施設の更新を行なっていきます。					

特記事項	
------	--